

平成 30 年 6 月 5 日
株式会社SUBARU

当社群馬製作所における燃費・排出ガス測定に関し新たに判明した二事案についてのご報告

表記について、現時点で当社において把握している内容は下記のとおりです。

記

1. 運転が測定モードに合わせられず失敗した測定事案について

測定端末のハードディスクその他の記録媒体に保存されていた平成 24 年 12 月以降の 6,530 台（当該期間における月次報告書上の測定台数は 6,939 台）分の測定データを改めて精査いたしました。

その結果、JC08 モードで定められた運転方法により燃費・排出ガス測定試験を行う際、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等（以下「細目告示等」といいます。）に規定されている速度からの逸脱時間が細目告示等において許容されている範囲を超えた運転（トレースエラー）となったにもかかわらず、有効な測定として処理した事案が 903 台分存在することを確認しました。なお、これらのうち、逸脱時間のデータが書き換えられていた台数については、現在、データを精査中です。

2. 測定室内の湿度が範囲外であった測定事案について

上記 1 の測定データを改めて精査した結果、燃費・排出ガス測定時には試験室内の湿度が 30～75%までの範囲でなければならないと細目告示等に定められているところ、試験室内の湿度が上記範囲外の測定環境（湿度エラー）であったにもかかわらず、有効な測定として処理した事案が 31 台分（そのうち、上記 1 との重複事案は 7 台分）存在することを確認しました。なお、これらの台数を含め、試験室内の湿度のデータが書き換えられていた事案の有無については、現在、データを精査中です。

3. 上記二事案に関する調査について

上記二事案について、現時点では、行為の実態、その原因や背景、動機等について、十分に究明するには至っておりませんが、調査体制を改めて検討した上、これらの事案のみならず完成検査業務全体のプロセスについて早急に再点検を行うとともに、再度、抜本的な再発防止策の見直しを行い、併せてご報告いたします。

（ご参考）

上記二事案における対象台数と 4 月 27 日付け「完成検査時の燃費・排出ガス測定に関する調査報告書」にてご報告いたしました排出ガス及び燃費の測定データの書き換え台数との関係は添付資料のとおりとなります。

以上

今回の報告対象台数と4月27日付け調査報告書による書き換え台数との関係について

	4月27日付報告済み台数	6月5日時点で新たに判明した対象台数			総台数 A+B-重複台数
	A:成分値の書き換え台数	①:トレースエラー台数	②:湿度エラー台数 ^(注2)	B:①+②-重複台数	
排出ガス測定データ関連	474	903 ^(注1)	31	927	1,222
燃費測定データ関連	511	503 ^(注3)	19 ^(注4)	516	890
書き換え等の総台数	903	903	31	927	1,551

注1: 903台のうち、データ書き換えを行っていた台数及び測定結果が範囲外であったものをそのまま採用した台数については現在精査中

注2: 湿度エラー台数を含め試験室内のデータが書き換えられていた事案の有無については現在精査中

注3: 排出ガス測定データ関連の「①:トレースエラー台数」の内数

注4: 排出ガス測定データ関連の「②:湿度エラー台数」の内数